第１号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：湊 地区	開催日時：令和６年11月13日（水）　18時00分　～　19時50分
担当班　：第１班（出席議員）　大竹俊哉、松崎新、大山享子、長谷川純一、笹内直幸	
開催場所：湊公民館	
参加人数：男性　13名、女性　０名、合計　13名（ほか、猪苗代町議会議員１名　傍聴）	

会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など

１．意見交換の総括

⑴　議会報告、市政全般についての総括

①　９月定例会議について

特になし。

②　市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について

共和・赤井地区は風力発電の全体計画そのものに反対しているわけではない。居住エリア付近での開発についてだけ反対していることを理解してほしい。土砂災害特別危険区域に指定されていることや、水源地区にも近いことから影響があるのではないかと心配している。

市に許認可権がないのは充分理解しているが、事業者で準備書類を作成している段階に来てしまっているので、なし崩し的に事業が進んでしまうことを恐れている。首長から強く反対してほしい。

⑵　地区別テーマについての総括

①　地区別テーマ

地域づくりについて

②　テーマ設定の理由、背景

湊地区にて活動を行っている各団体。

③　主な地域課題

特になし。

会津若松市議会議長　様

令和6年12月12日　　会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第２項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長　　大竹　俊哉

意見交換会第１班　　代表者　大竹　俊哉

○　議会報告（定例会など）、市政全般（市政・議会運営に関する意見交換）について

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答（処理）済　②ご意見として伺った事項（含む情報提供）　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
会津若松みなと風力発電事業は、市長に対して白紙撤回を求める住民の署名と共に陳情した。自然豊かな背あぶり山における今般の風力発電事業計画は、地域住民の安住の地を奪い、貴重な水資源を損なうものであることから、西田面・上馬渡・下馬渡町内会はもとより湊地区全体の問題として、市に対して反対の意思表示を行うものである。問題点として、以下の４つがある。 １、現在稼働しているコスモエコパワーの風車よりも一般住宅に近く、騒音と低周波による健康被害が心配である。 ２、背あぶり山系は、生活の源である各地区の簡易水道の源泉が点在し、また農業用水である堤も点在することから、風力発電設置に伴う地下水や沢水への影響が懸念される。 ３、背あぶり山系の沢は、全ての土砂災害特別警戒区域に指定されており、森林の伐採、工事用道路などで治水力が保たれなくなることから土石流も懸念される。 ４、実施地区はクマタカやイヌワシの生息が確認されており、絶滅危惧種や希少野生動植物の保護を訴える。 以上のことを踏まえて、背あぶり山の山頂湊側斜面を新たに保全地区に指定し、乱開発を阻止するためにも、今般、福島市が制定を進めている条例制度を参考に本市も早急に制定することを願うものである。国が定める環境影響評価や環境アセスメントのガイドラインでは、土砂災害特別警戒区域、その他の土砂災害警戒区域への設置規制対象外となっている。議会としても参考にしてほしい。	ご意見として伺う。 ※福島市のように条例化してほしいとのことで、頂戴した参考資料の内容。	○	②		環境

○　議会報告（定例会など）、市政全般（市政・議会運営に関する意見交換）について

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答（処理）済　②ご意見として伺った事項（含む情報提供）　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
私は、風力発電事業の全てを反対しているのではなく、計画のうち、土砂警戒区域になっているところへの５基の建設をやめてほしいと考えている。生活そのものを脅かすものになってしまわないか不安である。	市にも情報は伝わっている。福島市の条例は、大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の設置を規制するもので、メガソーラー以外は規制されていない。一か所に集中してしまう問題もあるようだ。 議会としてはこのような発言があったと認識している。この問題は、市でも判断できないところにあるが、議会としても受け止めたい。	○	②		環境
昨日、映画撮影があった。会津若松フィルムコミッションで対応したのか不明だが、業者が集会所を休憩所として使いたいと連絡してきた。	我々では判断できない内容なので、詳しくは観光課に確認してほしい。	○	②		観光
崎川浜がキャンプ場になる話はどうなっているのか。共有地を貸出している。 木の倒木があった場合、なぜ地元で処理しないといけないのか。地元へ全く説明がない。観光課へ伝えてほしい。	中田浜、崎川浜ではトイレ問題もあると考えている。木の伐採は前回の意見交換会でも話があったので、地元へ説明するよう担当課へ伝える。	○	②	後日調査し、事後報告する。（Ｐ９）	環境
笹山原のドコモキャリア電波が非常に悪い。電話があっても家の外で話をしないといけない。仕事にも影響してくる。 せっかく移住しても住みにくい。	インターネット回線については、関西ブロードバンド株式会社が対応している。携帯電話の電波については、各キャリア会社の問題でもあるが、調査は必要と考える。	○	②	後日調査し、事後報告する。（Ｐ９）	まちづくり
平潟から高坂に至る市道幹Ｉ－24号線は、長年の懸案事項で、地元から市へ要望を出している。早急な改善を求める。	市の建設部と議会では、市道幹Ｉ－24号線の要望について認識している。過去には、地元と道路整備について話し合いをした経過もある。今後、所管委員会の中で取り組んでいく。	○	②		道路
道路のセンターラインや一時停止線が消えている。警察署へ相談に行くと、市に相談してほしいと言われた。市へ要望書を出しているのに対応してもらえない。	過去の意見交換会でも話があり、その都度調査・報告をしてきた。建設委員会でも検討事項に挙がっていたが、議論が止まっている可能性もあるので、検討を再開できるようにしていく。	○	②		防災・安全

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	湊地域づくりネットワークで活発に活動されていると聞いた。先日開催された、湊もち・そばまつりや赤井大イチョウ夜会について、どのように開催したの教えてほしい。			
湊もち・そばまつりを11月10日に開催した。 参加者が約230名だったが、スタッフ50名で対応した。湊地区全戸や公民館、コンビニなどに開催チラシを配布した。 当日は、原地区の３名が民謡を歌い、参加者に餅をついてもらったりした。参加者アンケートには、参加費2,000円で餅や蕎麦、天ぷらを食べることができ満足だったと回答があった。	私は、10日に参加した。湊もち・そばまつりは大盛況だった。参加者に話しを伺うと、市外から参加した方が大半のようだった。 手伝いの募集はどのように行ったのか。	○	②	
赤井大イチョウ夜会については、若者の団体である「ルート294湊翔会」が開催した。11月２日は雨が降っていたが、約50名が参加者した。３日は日曜日だったが、17時には駐車場が満車になっていた。 区長会長の提案で、赤井地区の住民が豚汁を振る舞った。フィリピンや県内外からの方なども参加していた。				
湊には、ＮＰＯ以外にも、各種団体があり、参加していただいている。若者の団体である「ルート294湊翔会」は、夕方からの赤井大イチョウのライトアップがあるのに、日中は湊もち・そばまつりも手伝っていただき助かった。	各地区から手伝いに来てもらったと思うが、他にはどのようなことを手伝ってもらったのか教えていただきたい。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
交通安全協会は駐車場の整理係をした。参加者からは、まつりについて、「孫と参加した」「夫婦で来て、そばがおいしかった」「湊もち・そばまつりはやっているところがない、湊はすごい」「湊もち・そばまつりの周知が不十分。開催案内などの看板があったらよい」などの声や、「農作物販売では、白菜が300円で安く買えた」などの声をいただいた。来年も交通安全協会は参加する。	先日の打ち合わせで、若い方が移住されたとの説明があった。本日参加されているので、話を聞きたい。	○	②	
笹山原に移住してきて、湊もち・そばまつりにも県外の友人と参加した。移住して気づいたことは、地区には、食堂がなく、コンビニは１軒しかない。 私が移住した理由は、地区の活動を民間主導でしていたから。また、自然が豊かなことも魅力的に感じる。福島県内でも一番ではないか。那須や日光にも負けないのではないかと思う。 歴史文化だと、戸ノ口には白虎隊戦場があり、湊の地名の語源となる船着き場がある。歴史だけでも魅力を感じる。 また、地元の方が危機感を持ち活動しているところも魅力を感じる。そして、湊だからこそできるものがあると思う。 県外から150人ほどの友人が宿泊したが、宿泊所が少ないので、キャンプしている。市街地で食事し、一人あたり少なくとも５万円の消費で、全員で750万円ほど消費した。本来なら湊で消費してほしかった。	湊地区の魅力について語っていただいた。皆さからも感想や話したいことがあれば発言してほしい。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
笹山原は、湊地区の中でも吹雪がひどい。また、湊に長年住んでいると魅力的な場所と思うことができなくなってくる。私は隣の集落に住んでいるが、応援する。	移住の方々と対話や交流をしたいことについて、どう思うか。	○	②	
集落ごとに交流する機会はない。私の集落では若い人が２人いるが、話をする機会がない。	もう一人若い移住者で、今年から湊地区の地域おこし協力隊になった方が参加しているので、お話を伺いたい。	○	②	
移住してきた先輩の紹介で湊を知り、２か月で移住を決断した。湊の魅力は、２つある。 一つ目は、なんでもある町だなというところ。以前、郡山駅前に住んでいたが、人工の構造物があるだけだった。湊は自然が豊かで、長年かかって作った物があふれている。 二つ目は、私はカメラ関係の仕事をしているが、魅力的な町なので多くの方に伝えたいと思える情報があふれている。これからは、湊の情報を発信していきたい。	映像配信や湊町のフォトコンテストなど、情報を発信してほしい。 また、奥会津には若い方が増えてきて、中には議員になっている方もいる。応援したいと思う。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域づくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
私は農業法人を運営している。今、湊の田畑がきれいなのは、農業している人がいるからだと思う。そういう人がいないと荒れるだけ。湊の人は商売っ気がない。私は70歳近くになるが、なんとか農業を守らなくてはならないと思っている。 現在、湊に残っているのは長男が多い。農家の息子だから、少なくとも農家に関わる仕事をしてきたが、私の息子は農業をしたことがない。そこで、これからの湊地区は、若い力で開拓していくようになってほしいと思うが、このことを話す機会がない。昔は、消防団との会合後に話をしていたので、若者と話をする場があった。今は、会合が終わると帰ってしまうので、若者と話をする機会がない。個人的には話をしているが、みんなと集まって話合いをする場が少なくなっている。これからは、若い人からも話をしてほしい。	若い人はどのくらいいるのか。	○	②	
私も農業法人を運営しているが、若い人がなかなかいない。農業を仕事にして生活してほしい。農業に将来の希望を持ってもらいたいと思う。農業経験がない若い方に、農業は楽しいと知ってもらいたい。				
移住してきて、今年はそばをつくったが、農業を始めるのは簡単ではなかった。市の農政課で具体的な申請の手続きをする際、農業に従事したことがなく、具体的記載の品名、使用する肥料の記載をどのようにすればよいか分からなかった。 また、そばの収穫後に収入と支出を計算し、どのくらい耕作面積があれば生活できるのかを考えると、農業を維持するのは難しいと感じた。農業の初期費用も高額だった。	本日は、移住してきた方や湊地区の方の考え方等を聞くことができた。これからも意見交換会を通し、地域づくりを考えていきたい。	○	②	

市民との意見交換会・事後処理報告書　　湊地区

件名	処理（対応）内容	備考
１．崎川浜に関する計画に対する地元への説明（Ｐ４）	【市民からの要望・質問】 崎川浜がキャンプ場になる話はどうなっているのか、地元へ全く説明がない。観光課へ伝えてほしい。 【事後処理結果】 崎川浜に関する整備計画については、地域づくり課をはじめ、複数の課で担当している。今後、地元への説明会を考えている。	
２．崎川浜の倒木の処理（Ｐ４）	【市民からの要望・質問】 崎川浜の共有地を貸出している。木の倒木があったがどうして地元で処理しないといけないのか。 【事後処理結果】 倒木がある件については、観光課で把握していなかった。共有地の管理については、令和５年度から、森林の現状把握と倒木の危険性がある木を計画的に伐採している。 なお、今後についても地元と協議をしながら進めていく。	
３．携帯電話の電波が弱いことについて（Ｐ４）	【市民からの要望・質問】 笹山原のドコモキャリア電波が非常に悪いため、家の外で携帯電話を使わないといけない。 【事後処理結果】 調査した結果、携帯電話会社では、お客様相談室を開設しているので、相談してほしい。	

会津若松市議会議長　様

令和6年12月17日

予算決算委員会委員長 大竹　俊哉

意見交換会第１班　代表者　大竹　俊哉